

## 様式 1

事 業 報 告 書  
(自 令和3年 4月 1日 至 令和4年 3月31日)

## 1 医療法人の概要

- (1) 名 称 社会医療法人 鴻仁会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 ( ☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり )
- ② ☒ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人  
☐ 出資額限度法人 ☐ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 岡山県岡山市北区伊島北町6番3号
- 注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
- (3) 設立認可年月日 昭和32年 7月22日
- (4) 設立登記年月日 昭和32年 8月 1日
- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	金重 哲三	当法人統括責任者
理 事	金重 恵美子	セントラルクリニック伊島院長
同	岡部 亨	岡山中央病院医師
同	小林 良三	岡山中央病院医師
同	田中 一宏	公認会計士
同	寒川 昌信	岡山中央病院医師
同	金重 総一郎	岡山中央病院院長
同	大枝 砂与	当法人統括看護部長
同	渡邊 伸作	岡山中央病院副院長
監 事	谷合 一陽	畝木医院医師
同	森脇 正	弁護士

- 注) 1. 「社会医療法人、特別医療法人及び特定医療法人及び医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第46条の5第6項参照)
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第46条の4第1項参照)

## 2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	岡山中央病院	岡山県岡山市北区伊島北町6番3号	一般病床 243床
診療所	セントラルクリニック伊島	岡山県岡山市北区伊島北町7番5号	

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[ ]書で記載すること。
3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
該当なし		

- 注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
不動産賃貸業	岡山市北区伊島北町7番5号	

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

2021年 5月28日	2020年度決算承認の件
2021年 6月28日	不動産売買に関する件
2022年 3月30日	2022年度事業計画及び経営計画の件
〃	2022年度借入金最高限度額の件
〃	理事・監事選任の件
〃	役員報酬限度額の件

- 注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債  
なし

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債  
なし

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設  
なし

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容  
なし

(9) その他

様式 2

法人名 社会医療法人 鴻仁会  
所在地 岡山市北区伊島北町 6 - 3

※医療法人整理番号 〇〇〇 / 8

財 産 目 録  
(令和 4 年 3 月 3 1 日現在)

1. 資 産 額	12,272,870 千円
2. 負 債 額	8,609,184 千円
3. 純 資 産 額	3,663,686 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	1,754,326
B 固 定 資 産	10,518,544
C 資 産 合 計 (A + B)	12,272,870
D 負 債 合 計	8,609,184
E 純 資 産 (C - D)	3,663,686

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))  
建 物 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 3 - 1

法人名 社会医療法人 鴻仁会  
所在地 岡山市北区伊島北町 6 - 3

※医療法人整理番号 50018

貸 借 対 照 表  
(令和 4 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>I 流 動 資 産</b>	1,754,326	<b>I 流 動 負 債</b>	1,861,457
現 金 及 び 預 金	657,848	買 掛 金	344,957
事 業 未 収 金	921,274	短 期 借 入 金	775,000
未 収 入 金	4,418	1年以内返済予定長期借入金	345,520
医 薬 品	15,342	未 払 金	188,232
貯 蔵 品	14,393	未 払 費 用	44,444
前 払 費 用	11,018	未 払 消 費 税 等	30,590
金 利 ス ワ ッ プ	53,955	未 払 法 人 税 等	71
その他の流動資産	76,575	前 受 金	1,782
貸 倒 引 当 金	△ 500	預 り 金	2,578
<b>II 固 定 資 産</b>	10,518,544	従 業 員 預 り 金	56,010
1 有 形 固 定 資 産	10,455,277	賞 与 引 当 金	72,268
建 物	5,393,376	<b>II 固 定 負 債</b>	6,747,726
構 築 物	149,453	長 期 借 入 金	6,724,651
医 療 用 器 械 備 品	174,063	長 期 未 払 金	22,775
その他の器械備品	160,189	預 り 敷 金	300
車 両 運 搬 具	0		
土 地	4,558,402		
建 設 仮 勘 定	11,111		
その他の有形固定資産	8,681	負 債 合 計	8,609,184
2 無 形 固 定 資 産	43,771	純 資 産 の 部	
借 地 権	6,340	科 目	金 額
ソ フ ト ウ ェ ア	33,809	<b>I 積 立 金</b>	3,663,298
その他の無形固定資産	3,622	退 職 積 立 金	30,000
3 そ の 他 の 資 産	19,495	修 繕 積 立 金	70,000
投 資 有 価 証 券	1,170	別 途 積 立 金	1,560,000
役員等長期貸付金	1,500	繰 越 利 益 積 立 金	2,003,298
長 期 前 払 費 用	3,433	<b>II 評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	388
長 期 前 払 消 費 税	11,557	その他有価証券評価差額金	388
その他の固定資産	1,834		
		純 資 産 合 計	3,663,686
資 産 合 計	12,272,870	負 債 ・ 純 資 産 合 計	12,272,870

(注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。

3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式 4 - 1

法人名 社会医療法人 鴻仁会  
所在地 岡山市北区伊島北町 6 - 3

※医療法人整理番号 00018

損 益 計 算 書  
(自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 3 1 日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		6,620,595
2 事業費用		5,855,957
本来業務事業利益		764,637
B 収益業務事業損益		
1 事業収益		7,054
2 事業費用		2,674
収益業務事業利益		4,379
事業利益		769,016
II 事業外収益		
受取利息	36	
その他の事業外収益	55,173	55,210
III 事業外費用		
支払利息	86,830	
その他の事業外費用	—	86,830
経常利益		737,396
IV 特別利益		
固定資産売却益	29,767	29,767
V 特別損失		
固定資産除却損	246,495	246,495
税引前当期純利益		520,668
法人税・住民税及び事業税		71
当期純利益		520,597

- (注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

法人名 社会医療法人 鴻仁会  
所在地 岡山市北区伊島北町6-3

※医療法人整理番号 00018

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

社会医療法人 鴻 仁 会  
理事長 金重 哲三 殿

私たちは、社会医療法人鴻仁会の令和3年会計年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和4年5月23日

社会医療法人 鴻 仁 会

監 事 森 脇 正

監 事 谷 合 一 陽



## 重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

### 1. 継続事業の前提に関する事項

該当なし

### 2. 資産の評価基準及び評価方法

#### ①有価証券

満期保有目的以外の有価証券

時価のあるもの ..... 決算期末日の市場価格に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定)

#### ②デリバティブ取引により生じる債権と債務

時価法

#### ③医薬品及び貯蔵品 ..... 最終仕入原価法による原価法

### 3. 固定資産の減価償却の方法

#### ①有形固定資産 ..... 定率法

但し建物については平成10年4月1日以降に取得したものは定額法  
建物付属設備、構築物については平成28年4月1日以降に取得したものは定額法

#### ②無形固定資産 ..... 定額法

### 4. 引当金の計上基準

#### ①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については、前々会計年度末日の負債総額が200億円未満であるため、法人税法における貸倒引当金の繰入限度額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

#### ②賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当会計年度に負担すべき額を計上している。

### 5. 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

ただし、令和2年4月1日以降取得した資産に係る控除対象外消費税等は個々の資産の取得原価に算入している。

### 6. 補助金等の会計処理

固定資産の取得にかかる補助金等については、直接減額方式(固定資産の取得時に取得原価から直接減額する方法)を採用している。なお、損益計算書においては当該補助金等を特別利益に計上するとともに、固定資産取得原価から直接減額した額を特別損失に計上している。

7. その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

該当なし

8. 資産及び負債のうち、収益業務に関する事項・収益業務からの繰入金の状況に関する事項

該当なし

9. 担保に供されている資産に関する事項

①担保に供されている資産

科 目	金額(千円)
建物	5,359,709
土地	4,520,925
計	9,880,634

②担保に係る債務

科 目	金額(千円)
短期借入金	775,000
長期借入金 (1年内返済予定を含む)	7,070,172
計	7,845,172

10. 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

①法人である関係事業者

該当なし

②個人である関係事業者

該当なし

11. 重要な偶発債務に関する事項

該当なし

12. 重要な後発事象に関する事項

該当なし

13. その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

①有形固定資産減価償却累計額 4,822,965千円

②国庫補助金等による固定資産の圧縮記帳額は 45,920千円であり、貸借対照表計上額はこの圧縮記帳額を控除している。

圧縮記帳をした固定資産

科 目	圧縮記帳額(千円)
建物	43,444
構築物	2,296
その他の器械備品	180
計	45,920

③所有権移転外ファイナンス・リース取引については、前々会計年度末日の負債総額が200億円未満であるため、賃貸借処理をしている。

賃貸借処理をしたファイナンス・リース取引

科 目	リース料総額(千円)	未経過リース料(千円)
医療用器械備品	628,844	342,627
その他の器械備品	47,180	19,313
車両運搬具	14,513	9,766
計	690,538	371,707

純 資 産 変 動 計 算 書  
(自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

	資本剰余金	積立金					評価・換算差額等	純資産合計
		修繕積立金	退職積立金	別途積立金	繰越利益積立金	積立金合計		
令和3年3月31日残高		70,000	30,000	1,560,000	1,482,700	3,142,700	1,882	3,144,582
会計年度中の変動額								
当期純利益					520,597	520,597		520,597
会計年度中の変動額合計					520,597	520,597	△ 1,494	519,103
令和4年3月31日残高	0	70,000	30,000	1,560,000	2,003,297	3,663,298	388	3,663,686

法人名 社会医療法人 鴻仁会  
所在地 岡山市北区伊島北町6-3

医療法人番号

有形固定資産等明細表

資産の種類	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価 却累計額又は 償却累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差 引 当 期 末 残 高 (千円)
建物	9,183,007	1,722	516,363	8,668,366	3,274,990	264,638	5,393,376
構築物	363,392	874	15,531	348,736	199,283	12,289	149,453
医療用器械備品	1,337,288	22,165	63,332	1,296,121	1,122,057	88,587	174,063
その他の器械備品	356,335	12,031	6,147	362,219	202,030	42,642	160,189
車両運搬具	15,856	—	4,325	11,530	11,530	—	0
土地	4,716,298	—	157,895	4,558,402	—	—	4,558,402
建設仮勘定	11,111	—	—	11,111	—	—	11,111
その他の有形固定資産	16,077	6,360	683	21,754	13,073	7,251	8,681
計	15,999,368	43,155	764,279	15,278,243	4,822,965	415,409	10,455,277
借地権	51,623	—	45,283	6,340	—	—	6,340
ソフトウエア	108,323	10,874	800	118,397	84,588	8,901	33,809
その他の無形固定資産	3,734	—	—	3,734	112	67	3,622
計	163,681	10,874	46,083	128,472	84,700	8,968	43,771
投資有価証券	3,164	—	1,994	1,170	—	—	1,170
役員等長期貸付金	1,800	—	300	1,500	—	—	1,500
長期前払費用	92,923	1,775	275	94,424	90,991	1,166	3,433
長期前払消費税	33,073	—	—	33,073	21,515	6,614	11,557
その他の固定資産	1,834	—	—	1,834	—	—	1,834
計	132,795	1,775	2,569	132,002	112,507	7,781	19,495

・建物 旧岡山中央奉還町病院解体516,363千円

・土地 伊福町、奉還町売却157,895千円

法人名 社会医療法人 鴻仁会  
所在地 岡山市北区伊島北町6-3

医療法人番号							
--------	--	--	--	--	--	--	--

引当金明細表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (その他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	500	500	—	500	500
賞与引当金	67,953	72,268	67,953	—	72,268

法人名 社会医療法人 鴻仁会  
所在地 岡山市北区伊島北町6-3

医療法人番号

借入金等明細表

区 分	前期末残高 (千円)	当期末残高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	1,165,000	775,000	0.55	—
1年以内に返済予定の 長期借入金	959,569	345,520	1.08	—
長期借入金(1年以内に 返済予定のものを除く。)	7,229,651	6,724,651	1.08	2046年4月
その他有利子負債 (未払金)	68,758	69,860	1.68	—
その他有利子負債 (長期未払金)	75,732	5,872	1.68	2023年4月
合 計	9,498,710	7,920,903	—	—

長期借入金返済予定額

(千円)				
	1年超2年以内	2年超3年以内	3年超4年以内	4年超5年以内
長期借入金(1年以内に返 済予定のものを除く。)	345,520	345,520	345,520	345,520

その他有利子負債返済予定額

(千円)				
	1年超2年以内	2年超3年以内	3年超4年以内	4年超5年以内
その他有利子負債(1年以内に 返済予定のものを除く。)	5,872	—	—	—

法人名 社会医療法人 鴻仁会  
所在地 岡山市北区伊島北町6-3

医療法人番号					
--------	--	--	--	--	--

有価証券明細表

【債権】

銘柄	券面総額 (千円)	貸借対照表価額 (千円)
計		

【その他】

種類及び銘柄	口数等	貸借対照表価額 (千円)
(その他有価証券) ㈱NTTデ-タイントラマ-ト	600株	1,170
計		1,170



法人名 社会医療法人 鴻仁会  
所在地 岡山市北区伊島北町6-3

医療法人番号

事業費用明細表

(単位：千円)

区 分	本 来 業 務 事 業 費 用			附帯業務 事業費用	収益業務 事業費用	合 計
	事 業 費	本 部 費	計			
材料費	850,050	—	850,050	—	—	850,050
給与費	3,177,309	—	3,177,309	—	—	3,177,309
委託費	438,044	—	438,044	—	—	438,044
経費	1,321,167	—	1,321,167	—	2,674	1,323,842
売上原価	27,020	—	27,020	—	—	27,020
その他の事業費用	42,364	—	42,364	—	—	42,364
計	5,855,957	—	5,855,957	—	2,674	5,858,632

法人名 社会医療法人 鴻仁会  
所在地 岡山市北区伊島北町6-3

医療法人番号					
--------	--	--	--	--	--

事業費用明細書  
(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 材料費		
医薬品費	338,784	
診療材料費	426,183	
医療消耗器具備品費	38,426	
給食用材料費	46,656	850,050
II 給与費		
給料・賞与	2,787,818	
退職給付費用	20,889	
法定福利費	368,601	3,177,309
III 委託費		
検査委託費	207,296	
給食委託費	93,169	
事務委託費	11,822	
清掃委託費	31,191	
保守委託費	35,363	
その他委託費	59,201	438,044
IV 経費		
減価償却費	425,544	
機器賃借料	150,956	
地代家賃	24,643	
修繕費	22,238	
固定資産税等	23,292	
機器保守料	88,304	
車両関連費	2,315	
福利厚生費	10,224	
旅費交通費	40,344	
職員被服費	11,739	
通信費	9,484	
広告宣伝費	12,796	
消耗品費	46,682	
消耗器具備品費	20,261	
水道光熱費	125,609	
保険料	31,882	
交際費	2,093	
諸会費	4,188	
環境衛生費	19,806	
寄付金	6,651	
雑費	57,286	
控除対象外消費税	187,493	1,323,842
V 売上原価		
商品売上原価	27,020	27,020
VI その他の事業費用		
研究研修費	6,511	
支払手数料	34,105	
租税公課	1,747	42,364
事業費用計		5,858,632

独立監査人の監査報告書

令和4年5月30日

社会医療法人鴻仁会  
理事会 御中

有澤和久公認会計士事務所  
岡山県岡山市  
公認会計士

有澤和久

監査意見

私は、医療法第51条第5項の規定に基づき、社会医療法人鴻仁会の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

私は、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、

その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

#### 計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監

査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上